

中国でアフリカ豚コレラが発生！

2018年8月3日、中国の遼寧省の養豚農場においてアフリカ豚コレラの発生が確認されました。

改めて防疫対策の徹底をお願いします。

◎万全の対策をお願いします！

1. 発生国への渡航自粛

＜やむをえず渡航する場合は、以下の事項を守ってください＞

- ・家畜市場や畜産関連施設に立ち入らない
- ・動物との不用意な接触を避ける
- ・肉製品等を持ち帰らない
- ・帰国の際は空海港の動物検疫所カウンターにて家畜防疫官の指導を受ける
- ・帰国後1週間は衛生管理区域に立ち入らない
- ・海外で使用した衣服、靴を衛生管理区域に持ち込まない

2. 病原体持ち込み防止の再徹底と消毒

- ・関係者以外の立入制限、不要物の持ち込み制限
- ・人・物・車両の消毒徹底

3. 家畜の健康観察と異常の早期発見・通報

※また、生肉を含む、または含む可能性のある飼料を給与する場合は、加熱処理(70°C以上で30分以上、また80°C以上で3分以上)が適切に行われたものを用いるようにしてください。

★異常を認めた場合は家畜保健衛生所に連絡してください

0574-25-3111

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください
つながらない場合は 0574-25-3484 へ
土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています

中濃家畜保健衛生所

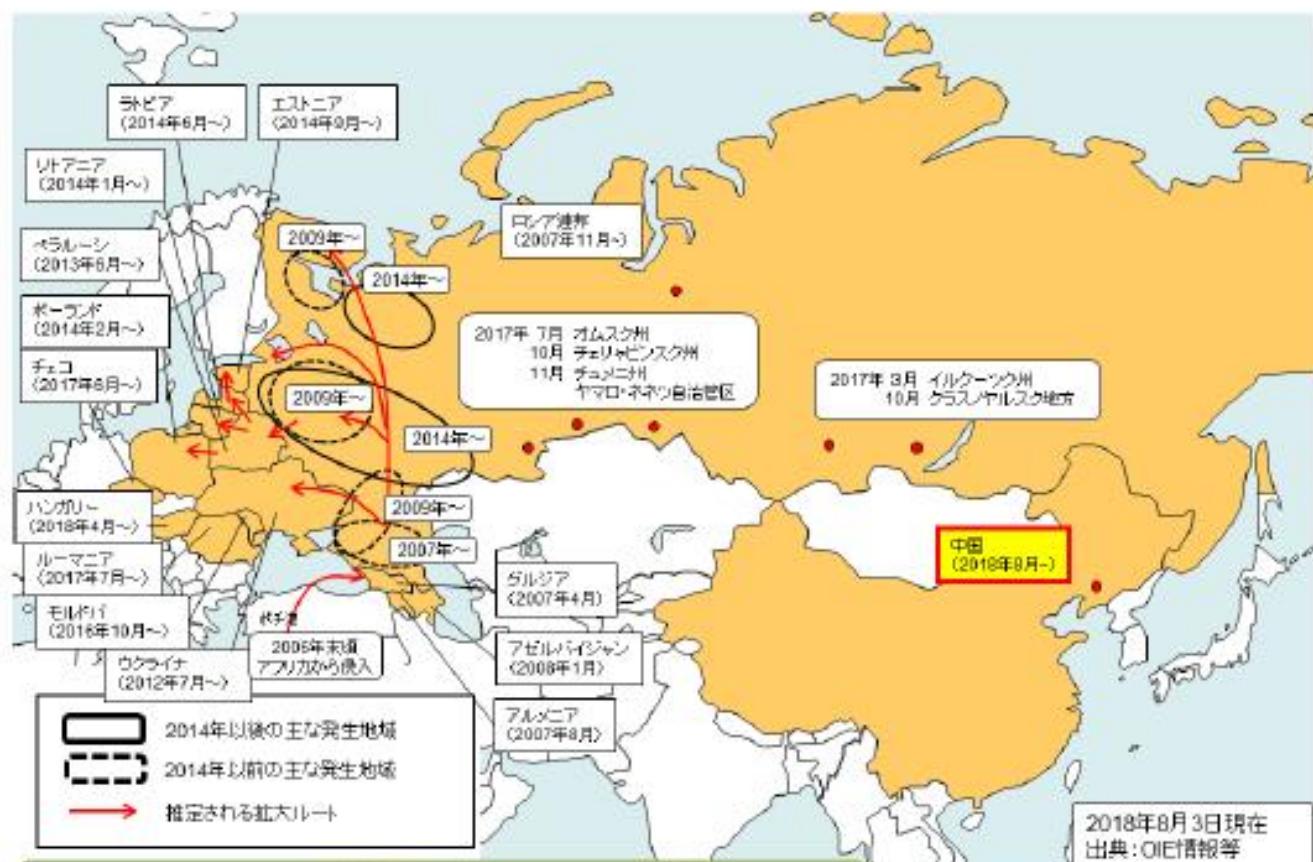
TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

中国でアフリカ豚コレラの発生を確認!

2007年にロシアでアフリカ豚コレラが確認されて以降、その発生地域が徐々に拡大しており、**2018年8月、中国の遼寧省瀋陽市**で本病の発生が確認されました！

我が国に本病が侵入するリスクが高まっています!!

欧州・ロシアにおけるアフリカ豚コレラの発生拡大状況(2007年～)



アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42°C)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center